

土岐市総合教育会議 議事録

1 開催日時・場所

令和7年11月19日（水）午後1時30分から
土岐市役所 大会議室2A

2 次第

- (1) 開会
- (2) 市長あいさつ
- (3) 教育長あいさつ
- (4) 協議・調整事項
 - 土岐市教育大綱の改定
 - 第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プランの策定
- (5) その他
- (6) 閉会

3 資料

第3次土岐市教育振興基本計画（素案）
教育振興基本計画__施策リスト

4 出席者

土岐市長 加藤 淳司

教育委員会

教育長 長谷川 広和
教育委員 加藤 幸代
教育委員 大野 良子
教育委員 林 勇氣
教育委員 小林 久人

教育次長兼学校教育課長兼教育研究所長	西尾 実
教育委員会事務局長兼教育総務課長	西部 浩司
教育総務課主幹兼課長補佐兼教育総務係長	榘岡 真弓子
学校教育課課長補佐	内海 裕樹
学校教育課副主幹	保母 征之
教育研究所主任	早瀬 浩孝
駄知小学校附属幼稚園長	伊藤 策雄

市長部局

地域振興部次長兼生涯学習課長

神戸 詔悟

こども家庭課長兼こども家庭センター長

辻野 まどか

事務局

市長公室長

水野 健治

市長公室次長兼政策推進課長

堀尾 宜弘

政策推進課副主幹

加藤 智英

政策推進課主査

最能 峻介

5 傍聴者 2名

6 議事進行の記録

次ページ以降に記載

◆議事進行の記録

《開会 午後1時30分》

○司会（堀尾市長公室次長兼政策推進課長）

定刻になりましたので、ただいまより令和7年度第2回土岐市総合教育会議を開催いたします。教育委員の皆様におかれましては、大変お忙しいところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の司会進行を務めさせていただきます、土岐市政策推進課長の堀尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本会議は、土岐市総合教育会議運営要綱に従い、進めさせていただきます。会議の傍聴につきましては、（土岐市総合教育会議運営）要綱 第5条第2項の規定に従い、土岐市教育委員会会議規則に基づいて実施することとしています。現在のところ、2名の傍聴人がいらっしゃいます。傍聴人の皆様におかれましては、会議進行の妨げとなる行為をお控えくださいますようお願いいたします。

それでは、さっそく次第に従いまして進めさせていただきます。

はじめに、加藤市長よりごあいさつ申し上げます。

○市長

本日は大変お忙しい中、令和7年度第2回土岐市総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。総合教育会議は市長部局と教育委員会が地域の教育課題を共有して教育行政を推進するための場です。小林教育委員と林教育委員におかれましては、初めて総合教育会議にご出席いただきます。和気藹々とした雰囲気を進めたいと思います。今回は、前回に引き続き、土岐市教育大綱の改定と第3次土岐市教育振興基本計画の策定方針について、意見をお伺いしたいと思います。子育て支援の一環として、岐阜県では1人あたり3万円の高等学校就学準備等支援金を支給していますが、今年度から土岐市においても小中学校入学準備応援金として、小学校入学予定者1人あたり5万円、中学校入学予定者1人あたり3万円の支給を実施します。今年度の支給予定人数は、高校は492人、中学校は435人、小学校は335人です。第3次教育振興基本計画の最終年度である令和12年度の小学校の入学者数は270人であり、現在よりさらに減少が見込まれています。こどもの数の減少からも、人口減少が進んでいると感じています。時代に合った教育をどのように進めていくかは大きな課題ですが、人口減少・少子化が進む中においても、こどもたちの健やかな成長は私たち大人の願いであるため、その願いや活力を持ちながら教育行政を進めていくことが必要であると思います。土岐市は市制70周年を迎え、「つなぐ」をテーマに様々な行事が行われています。我々の想いもひとつに、皆様との繋がりをはじめ、人と人、地域と地域、そして世代を超えた繋がりを大事にしたいと考えています。皆様には引き続きお力添えをいただきながら、土岐市の教育行政を進めていきたいと思っております。

本日の会議では皆様からの貴重なご意見をいただきながら、今後の教育の在り方について、共に考えたいと思っています。活発な意見交換をお願い申し上げまして、冒頭のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○司会（堀尾市長公室次長兼政策推進課長）

ありがとうございます。続きまして、長谷川教育長よりごあいさつをいただきます。

○教育長

本日は大変ご多用の中、加藤市長並びに市長部局の皆様には、総合教育会議を開催いただきありがとうございます。また、教育委員の皆様には、毎週のように会議等にご出席いただきありがとうございます。本日は、土岐市の教育の現状を踏まえながら、今後の方向性を共に考える貴重な機会だと思っておりますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。

学校ではインフルエンザが流行っており、小学校2校、中学校1校であわせて8学級が学級閉鎖となっています。今週末は3連休のため、少しでも休養をとっていただき、週明けには元気な姿が見られるとよいと思います。状況を見ながら、こどもたちを見守りたいと思います。

私からは3点お話しさせていただきたいと思います。1点目はAIについてです。先日、教育振興基本計画策定委員会を開催しました。委員の皆様は土岐市の現状をよく理解いただいております、土岐市に対しての愛着、こどもたちの未来、教育への願いを込めてお話いただきました。その中で、委員の1人が、AIを活用すれば、容易に読書感想文が作れ、先生の授業の進行原稿も作れる、苦勞して考えなくてもAIがすべて作ってしまうことを「恐ろしい」と表現されたことを覚えております。一方で、AIは自分の悩み事を全部受けとめてくれ、心の健康にとって大事な場であるとおっしゃられる方もいます。AIの活用は、働き方改革に繋がる一方、危険もはらんでいるという環境の中で、こどもたちにどのような力をつけていく教育をするのかは、大きな課題であると感じたところです。2点目として、土岐市は市制70周年を迎え、市長部局の皆様には、様々なイベントを企画していただきました。イベントでは、子育て世代の親子が一緒に活動しながら、笑顔で話しており、お礼を言ったこどもを褒める保護者の姿が見受けられました。このような親子の関わりの場を提供いただき、ありがとうございます。イベントになかなか参加できていない家庭もあり、危惧しているところではありますが、親子を繋ぐだけでなく、こどもにとっては家庭から社会に広がるような機会を作っていたことに感謝しております。3点目について、駄知小学校附属幼稚園に訪問した際に、5歳児の子が開脚前転や跳び箱4段、鉄棒を身軽にこなしておりました。後日、小学校の授業を見学した際には、跳び箱4段の開脚跳びが2割の子ができていませんでした。学年が上がるにつれ、怖さを感じるようになるため、跳び箱を跳び越えることができない姿を見ると、やはり教育には発達のタイミングが非常に大事であることを実感しました。土岐市はこれまで小学校と中学校の接続を大事にしていますが、今後は幼稚園・保育園・こども園から小学校、中学校までを繋げ、こどもたちを育てていくことが必要だと考えており、計画の中でも示しておりますので、後ほどご説明をさせていただきます。こどもは地域の宝、これからの主役はこどもたちというスタンスで、周りの方々の力もお借りしながら、人と人が繋がって、それぞれやりがいを持って人づくりをするということが大切だと思いますので、第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プランを通して、こどもに関する皆様が目指す方向ややるべき取り組みが、少しでもイメージできるような計画にブラッシュアップしていきたいと思っています。本日はどうぞよろしく願いいたします。

○司会（堀尾市長公室次長兼政策推進課長）

ありがとうございます。

協議・調整事項に入る前に、10月から新しく教育委員に就任された方もおみえになりますので、改めてこの総合教育会議についてご説明します。総合教育会議は、教育大綱の策定や、学術及び文化の振興や教育の条件整備などで重点的に講ずべき施策、児童、生徒等の生命又は身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置などについて、地方公共団体の長と教育委員会とが十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進するための協議や事務の調整を行う場となっています。

本日は、6月24日に開催しております第1回土岐市総合教育会議で意見交換を行いました、「土岐市教育大綱の改定」及び「第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プランの策定」について、引き続き意見交換を行うこととしております。

それでは、次第4「協議・調整事項」に移りたいと思います。まず、「土岐市教育大綱の改定」について、ご協議いただきます。はじめに、土岐市教育大綱についてご説明します。

教育大綱の正式名称は「地方公共団体の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」でございます。これは、「地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の根本となる方針」として、国の「教育振興基本計画」の内容を参酌して定めることとされております。また、大綱の策定や改定をする際には、総合教育会議において協議し、地方公共団体の長が決定することとなっております。

現在の「第2次教育振興基本計画 夢・絆プラン」につきましては、当初、令和6年度末までを計画期間としておりましたが、「第七次土岐市総合計画」が令和8年度から開始するため、上位計画である総合計画と整合を図った計画とするために、昨年度の総合教育会議で協議を行い、計画期間を1年延長することとなりました。

また、「第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プラン」の策定にあたり、「土岐市教育大綱」についても改定するべきであるとの結論に至りました。そのため、「土岐市教育大綱」の改定案について、「第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プラン」の策定方針と併せて、6月の第1回土岐市総合教育会議でご意見をいただいたところです。

その後、いただいたご意見等を踏まえて「第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プラン」の策定を進めるにあたり、「土岐市教育大綱の改定」について、前回の総合教育会議でお示した改正案から一部修正したいと、教育委員会から提案がありました。

それでは、ここで教育委員会事務局から「土岐市教育大綱の改定」の一部修正についての説明をお願いします。

○教育委員会事務局（西部教育委員会事務局長兼教育総務課長）

【資料「第3次土岐市教育振興基本計画（素案）」に基づいて説明】

○司会（堀尾市長公室次長兼政策推進課長）

ただいま説明のありました「土岐市教育大綱の改定」について、委員の皆様からご意見を頂きたいと思います。それでは、ご意見ありましたら遠慮なくお願いします。

○加藤教育委員

教育理念の自らという部分は非常に大事だと思っており、何事にも自ら進んで取り組めるとよいと考えています。ふるさとの人の絆については、こどもとの会話の中で、こどもたちは土岐市が好きであると感じています。既に浸透していると思うため、自ら夢を持ち、立ち上がっていく力をつけて、大人になってもらえると、安心して送り出せると思います。自分と異なる他者について、これから多くの方と出会うため、固定観念に捉われない柔軟な子に育て欲しいと思います。時には我慢することも大事ですが、自分の良さを出しやすい社会になり、個性を大きく育てられるような教育ができるとよいと思います。

○大野教育委員

こどもは地域の宝であり、地域、家庭、学校など土岐市全体でこどもを見るのが大事であるという計画が作られていると思います。

○小林教育委員

過去に肥田中学校と泉中学校、泉西小学校で授業を見させていただいたことがありますが、その時と今では、授業の形が異なっているため、こどもたちがしっかり勉強ができているのかが疑問です。詰め込み教育は良くないという話がありますが、今の授業の形で勉強が進んでいくのが心配になりました。

○林教育委員

素晴らしい基本理念だと思います。私はこどもと関わる機会が多くありますが、その中で、自分の良さが分かっていないこどもや自己肯定感が低いこどもが多いと感じることがあります。自己肯定感を高めることは簡単ではありませんが、こどもたちの自己肯定感を育むことで、その先の共生や貢献に繋がると思うため、その意識を持って教育に取り組むことは大事であると思います。年々こどもは少なくなっていますが、こどもがいないと未来はないので、自分で自立して考えを持つことができるような場があるとよいと感じています。

○司会（堀尾市長公室次長兼政策推進課長）

ありがとうございました。教育大綱は市長部局で改定をしますが、教育委員会と連携を取りながら、今の時代に沿った形で作らせていただいていると考えております。今回は一部修正として、ご提案いたしました。本日お示しした教育大綱の案で進めさせていただきたいと思いますが、「土岐市教育大綱の改定」について原案のとおりとすることにご異議ございませんでしょうか。

○教育委員一同

異議なし。

○司会（堀尾市長公室次長兼政策推進課長）

異議なしと認め、「土岐市教育大綱の改定」については、原案のとおり進めさせていただきます。

続きまして、「第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プランの策定」についての説明を教育委員会事務局にお願いします。

○教育委員会事務局（西部教育委員会事務局長兼教育総務課長、早瀬教育研究所主任）

【資料「第3次土岐市教育振興基本計画（素案）」および「教育振興基本計画__施策リスト」に基づいて説明】

○伊藤駄知小学校附属幼稚園長

【資料「第3次土岐市教育振興基本計画（素案）」参照】

私は第3次土岐市教育振興基本計画策定委員を務めており、先日開催された第3次土岐市教育振興基本計画策定委員会でもご意見させていただきました。本日は、基本施策1に記載の「幼こ小「架け橋期」の連携の推進」及び基本施策4に記載の「運動好きなこどもの育成」について、策定委員の立場でお話させていただきます。

「幼こ小「架け橋期」の連携の推進」については、3年前に泉西小学校区が文部科学省の指定を受け、幼保小の架け橋プログラムに取り組んできました。そのような経緯から、小学校においても、幼稚園・保育園・こども園との連携を大切にしたい取り組みが進められています。なぜこのような連携が必要かと考えると、幼稚園の主な活動は遊びであるため、遊びを通じてこどもたちの思いを引き出し、その思いに寄り添いながら、認め、励まし、頭・心・体を一体的に育むことが重視されています。小学校では時間で区切られた教科ごとの学習が組み込まれており、この間には大きなギャップがあります。小学校のシステムに馴染めず、不登校になるこどもの数も近年増えつつあり、不登校の低年齢化も課題の一つとなっています。第3次教育振興基本計画に「幼こ小「架け橋期」の連携の推進」を掲げることは、教員の意識改革においても重要だと考えています。これまでの取り組みとして、幼稚園では小学校に向けてアプローチカリキュラムを作成し、小学校ではスタートカリキュラムを作成しました。また、教育委員会の働きかけにより、幼稚園・こども園・小学校の教務主任が集まる機会が設けられ、小学校区ごとの繋がりや交流ができるようになってきました。そこで、第3次教育振興基本計画における具体的な取り組みでは、単なる交流から意味のある交流となるよう、5歳児から小学校1年生までの接続期カリキュラムを作成し、相互に連携しながら発達段階に応じたねらいや身につけたい力を育む活動に取り組むことが重要であると考えています。具体的な事例として、泉西小学校では生活科の授業において、4月初めに学校探検を実施しています。実際に学校内を巡り、学校の様子を自分たち自身の目で知るという体験ですが、その中でゴールとして幼稚園児に学校を教えることを設定することで、単に学校の様子を知るだけでなく、「ここはどんな教室なのか」と具体的に考えるようになり、話す力の向上にも繋がります。幼稚園では、秋に様々な葉っぱやどんぐりなどを見つけ、それらを使った遊びを行っています。その際、幼稚園と小学校が連携することで、両者を繋げた発展的な取り組みが可能となります。また、駄知幼稚園では、実際に小学校に訪問し、授業の間の休み時間をどのように過ごしているかを見学しました。これにより、こどもたちは今までのようにいつでも自由にトイレに行くのではなく、活動が終わったタイミングでトイレに行くことを自分たちで考える機会になりました。今後検討する必要がある取り組みとして、県内の小学校では入学直後の4月だけ、授業前に15分間好きな遊びをする時間が設けている学校があります。幼稚園では朝の時間に

パズルやブロックで遊ぶ習慣があり、その習慣を小学校にも組み込みことで、小学校入学時の不登校や学校へ行くのが嫌な子どもたちへの対策に繋がります。このような対策をこれからは考える必要があると考えています。

「運動好きなこどもの育成」として、土岐市では、小学生の運動能力が全国平均を下回っており、姿勢が悪い子ども、落ち着きのない子どもが増えています。結果を重視するのではなく、子どもは運動している過程で成長するため、少しでも成長したところをどんどん認め、様々な経験を積ませてあげることが大事であると思います。幼稚園やこども園では、最初はリトミックから始め、5歳児になると様々な遊びを行っています。運動好きなこどもを育てていくことが重要であり、このような意識を持ちながら取り組み、その結果として体力が高まるとよいと考えています。

○教育委員会事務局（早瀬教育研究所主任）

【動画「架け橋期のぎふっこの学びとくらし（岐阜県作成）」の放映】

- ・泉西小学校1年生が泉西幼稚園5歳児を招待した「西っ子おもちゃランド」の紹介
- ・泉西幼稚園5歳児が泉西小学校1年生に贈る木の実を使ったメダル作成の様子

架け橋期プログラムに対する泉西小学校の校長先生の実感として、他の小学校の1年生と比較すると、泉西小学校の1年生は、入学当初から大勢の前で話すことへの抵抗が少なく、学校生活に慣れるのも早く、登校渋りはほとんど見受けられないと話されています。そのため、幼稚園と小学校の架け橋期の連携は効果があると考えています。現状の課題として、不登校や特別な支援が必要な児童生徒の増加、体力の低下が小学校低学年から表出しているため、これらの課題に対応するには、小学校入学前からの相互連携は非常に重要であると考えています。

○司会（堀尾市長公室次長兼政策推進課長）

ただいま説明のありました「第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プランの策定」について、皆様からご意見を頂きたいと思います。

○大野教育委員

第2次土岐市教育振興基本計画では、安全で確実なアレルギー対応食の提供に取り組んでおり、対応として定着したということで、第3次岐市教育振興基本計画の施策に記載がありませんが、引き続き記載するべきではないでしょうか。

○教育委員会事務局（西部教育委員会事務局長兼教育総務課長）

以前、ワーキンググループで議論をした際、アレルギーについては十分対応しているため、あえて記載する必要はないと判断していました。しかし、大野教育委員がおっしゃられるように、アレルギーは非常に重要なことであるため、第3次岐市教育振興基本計画にも記載するよう修正いたします。

○加藤教育委員

先日、PTAの選出会議が開催されましたが、PTAに参加することに消極的な方が多いように感じました。どんな活動をしているかをもっと知ってもらい、少しでも参加していただける方が増えるとよいと思います。架け橋期の活動は非常にありがたいと思っています。朝の登校時、小学生が家まで迎えに来てくれていたことがすごくありがたかったため、今後も推進してもらえるとよいと思います。

○小林教育委員

私もPTAの会長を務めていたことがありますが、他のPTAがどのような活動をしているのかが分かりません。その学校独自で取り組んでいることもあると思うので、他のPTAと連携しながら、活動を共有できるような仕組みがあるとよいと思いました。

○教育委員会事務局（早瀬教育研究所主任）

PTA活動については、基本施策6「地域の教育力に向上と地域・学校・家庭の絆づくり」の「家庭教育を学ぶ機会の充実」に記載させていただいています。今日的な課題として、PTAのなり手不足が挙げられます。研修を通して、他のPTAの取り組みやPTAの存続について学ぶ場を設けたいと考えております。

○小林教育委員

学校行事への参加に消極的な方に対する啓発が必要ではないでしょうか。以前から授業参観など学校行事に興味を持たれていない方がいらっしゃる事が気になっていたため、そのような方にも興味を持ってもらえる取り組みが必要だと思います。

○教育委員会事務局（早瀬教育研究所主任）

家庭教育に関する啓発も図ることとしているため、本日いただいた意見を踏まえながら、策定を進めていきたいと思っています。

○林教育委員

冒頭に教育長が生成AIについて話されましたが、私自身も仕事で使う資料の作成に生成AIを活用しています。便利である反面、AIが示す情報は必ずしも正確ではないため、その判断基準やAI、SNSの危険性などを先生や子どもが学ぶ場があるとよいと思います。時代の流れ、変化に沿ったやり方に私たちも適応していくことが必要であると考えています。黙知では子どもが少なくなっており、分団登校も兄弟だけで登校している地区もあります。地区に子どもが1人だけとなってしまった時に、保護者も子ども1人で登校させることに不安があるため、他地区の子どもと一緒に登校するのかなど、その対応について考えていただきたいと思っています。

○教育委員会事務局（早瀬教育研究所主任）

附属幼稚園があるため、園児と小学生が一緒に通うことは土岐市の特徴でしたが、保護者の就労や附属幼稚園のこども園化が進む中、分団登校に参加する子どもが少なくなっていることは私達も認識しています。

○教育長

一緒に登校する場合は、異学年が交流する場として貴重であると認識しています。土岐津幼稚園では、1人しか分団で来ていないという状況もあるため、家庭状況も踏まえながら、柔軟に考えていきたいと思っています。

○司会（堀尾市長公室次長兼政策推進課長）

ありがとうございました。その他よろしかったでしょうか。本日いただきましたご意見を踏まえながら、第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プランの策定を進めさせていただきます。

予定しておりました二つの案件について意見交換をしていただきました。

今後も、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有して、より良い教育行政を推進するため、この会議にて協議や調整を行っていきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、本日の会議を踏まえて、教育長・市長からお話をいただきたいと思います。まず、長谷川教育長からお願いいたします。

○教育長

貴重なご意見をいただきありがとうございました。不易と流行という言葉があります。時代にあわせて対応することも必要ですが、PTAを含め、過去から大切にしているものの根幹を見極めながら、今回の計画の中に整理したいと考えております。今後ご意見をいただければと思っております。本日はありがとうございました。

○司会（堀尾政策推進課長）

ありがとうございました。続きまして、加藤市長お願いいたします。

○市長

本日は活発なご意見ありがとうございました。教育大綱および教育振興基本計画に基づいて、土岐市の教育を進めていきます。小林教育委員からご意見いただきましたが、今の教育で子どもたちの学力は大丈夫なのかという心配があります。私が中学生の時は、バスケットボール部に所属しており、先輩が色々と教えてくれ、先輩から学んでいました。部内での指導により、繋がりが生まれ、体力も身に付いたという側面もあります。一方で、今は主体的に学び、考えて行動することが求められています。そんな子どもたちに寄り添いながら、PTAのあり方など大人がどう考えるかということも大事であると思っております。林教育委員には先日開催されたスポーツフェスティバルで太鼓の演技をしていただきました。子どもたちは非常に礼儀正しく、しっかり演奏を合わせていました。ある程度の基礎的な部分は大人が子どもに教えていると思います。主体的に考えて行動するという言葉の裏腹には、大人が責任を持って子どもたちを導くといったことも必要であると感じております。本日いただきましたご意見を参考に第3次教育振興基本計画 夢・絆プランの策定を進めていきますので、皆様にはその進捗管理を含めて見届けていただきたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

○司会（堀尾政策推進課長）

ありがとうございました。

本日は、貴重なご意見を多数いただき、ありがとうございます。皆様からいただきましたご意見や課題を参考に「土岐市教育大綱の改定」及び「第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プランの策定」を進めてまいります。

今後のスケジュールをご説明いたします。「土岐市教育大綱の改定」につきましては、最終的な第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プランの決定にあわせて、市長部局にて、改定いたします。「第3次土岐市教育振興基本計画 夢・絆プラン」につきましては、教育委員会事務局にて、本日の会議と12月上旬までに開催する第3回教育振興基本計画策定委員会でのご意見等を踏まえ、最終的な計画案を12月22日の予定で教育委員会定例会にお諮りいたします。その後、パブリックコメントを実施し、いただいたご意見等を踏まえ、計画を決定いたします。

続きまして、次第5「その他」についてですが、何かございますか。特に無いようであれば、事務局から連絡をいたします。

次回の総合教育会議につきましては、来年度の開催を予定しております。ただし、重点的に講ずべき施策や、緊急性のある問題が発生した場合など、市長と教育委員会が特に意思疎通が必要な場合は、随時開催することとなります。その際は、ご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の議事録につきましては、事務局で作成したのち、みなさまにご確認いただくことを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして、本日の会議は閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

《閉会 午後2時45分》